



平成28年は申年
幸島にて

うたごえよみ

「短歌」串間短歌会選

● 朝食の梅干一つの塩加減

九十一歳命たもたむ

上中園 鍋倉 文子

● 正月の彩にせんと手入れする

葉ボタン裏の卵よごめん

西 浜 河野ヨシ子

● 手のひらにうくれば重き秋茄子を

さ庭にたわわ兄は遣せり

堂 園 吉田 良子

● きのうちまで固く握りし拳より

ひとつ解けるつわぶきの花

飢 肥 山脇恵乙子

● 風邪の神居心地よきか戻りきて

家の主を又困らせる

一般投稿 有 明 大保 ミワ

「俳句」あさひ俳句会選

● 五臓六腑に沁みゆく思ひ寒の月

上町一 又木 順子

● 橙のすわりや安寧匂ふなり

上小路 木島サイ子

● 冬ざれやずしりと肩に重きもの

仲 町 原 里歌

● 善き人に囲まれ生くる 四温かな

寺 里 谷口 秀子

● 紅梅や山より見つむ烏帽子岩

仲 町 木島 幸子

*短歌、俳句の投稿は
■短歌 野辺俊子さん(☎72-33300) ■俳句 本田幾男さん(☎72-15280)